

世界一わかりやすい

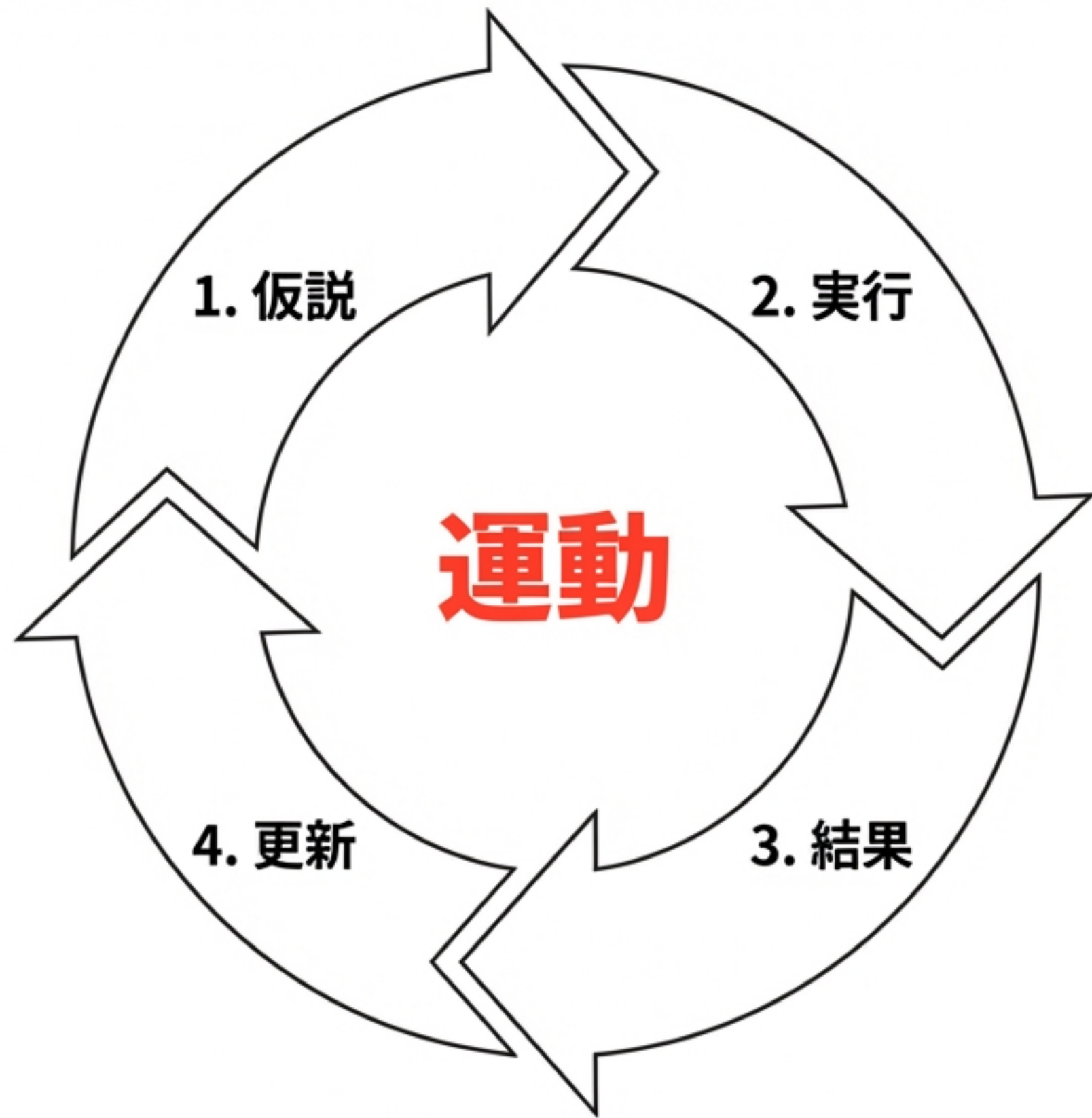
「人間力」と

「構造」の教科書

勝ち負けに疲れた社会人へ贈る、中島信頼の「OS更新」プログラム

思想を持つな。 「運動」を起こせ。

中島信頼の立場は、
完成された思想ではありません。
断定しない。でも、立場は取る。
可能性を閉じない。
でも、曖昧にはしない。

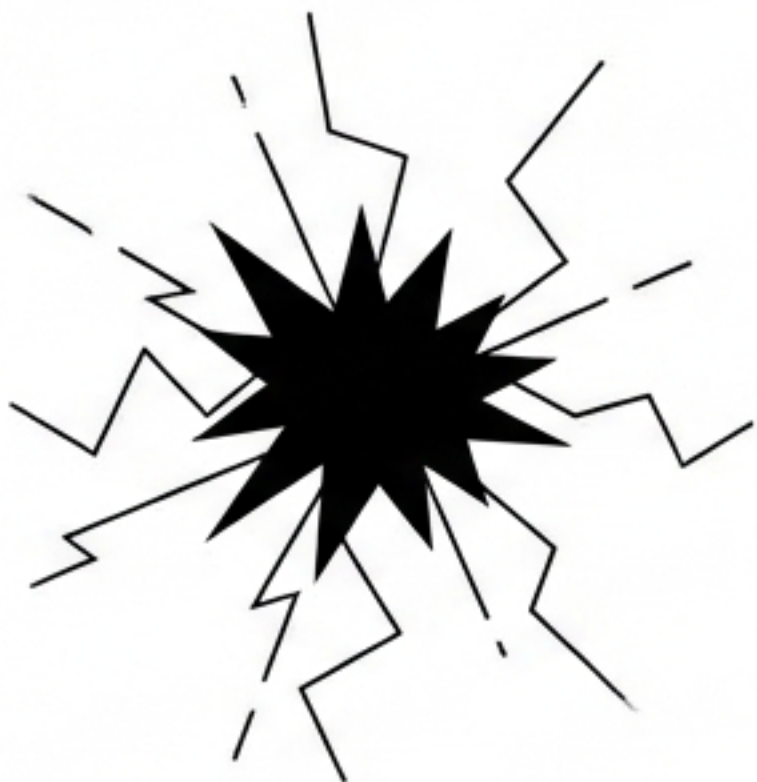


この循環が止まらない状態こそが、最強の生存戦略＝「運動」です。

「勝つ」ことを目的にするな。「再現性」を支配せよ。

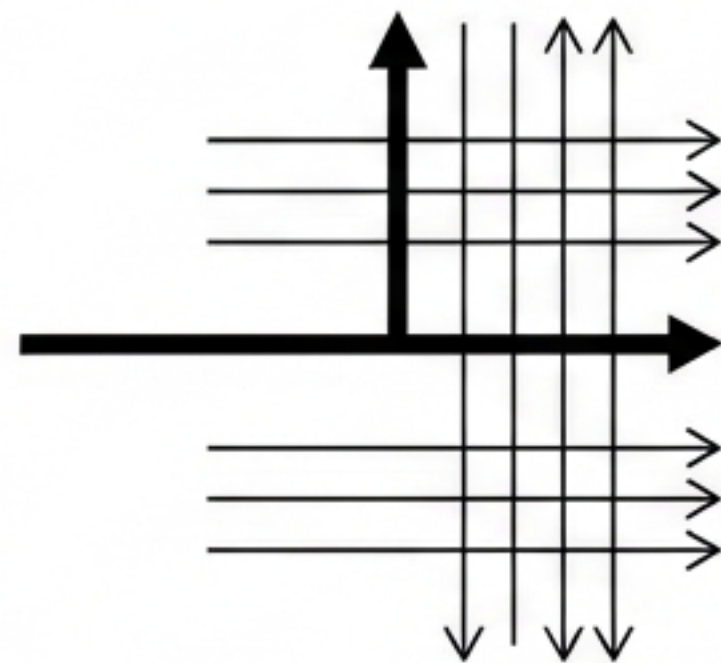
勝利はただの「現象」。点（奇跡）ではなく、線（構造）を作れ。

旧・勝敗観



- 勝ちを奪うもの
- 最後の一点は相手のミス
- 勝敗＝結果

新・構造観



- 勝てる状態を再現可能にする
- 構造が正しければ負けても進化
- 構造＝評価軸

構造が崩れていれば、たとえ勝ってもそれは「退化」である。

人間力とは「いい人」のことではない。 「技術」である。

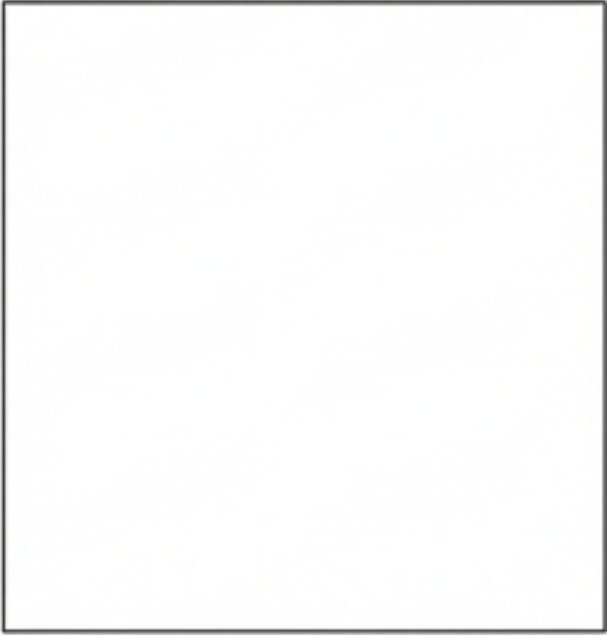
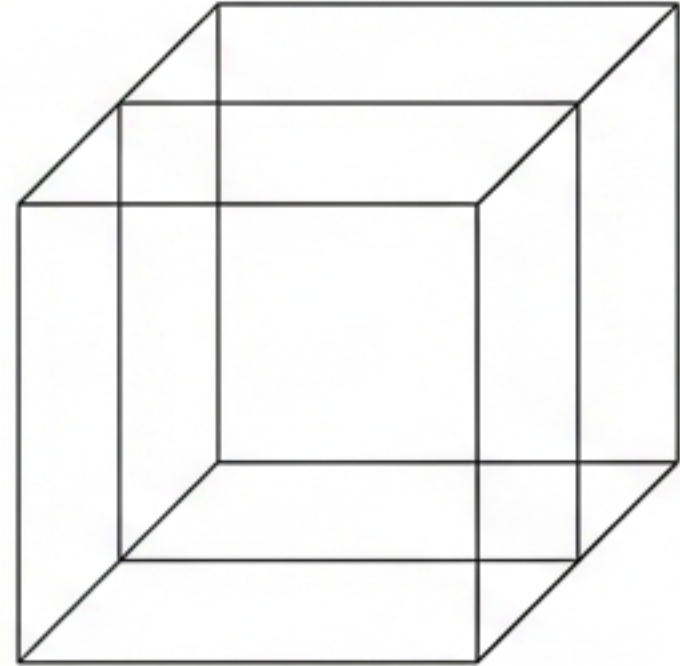
【統合定義】

幸福を再現可能な状態として理解し、
人を壊さずにプロジェクト（構造）を
前に進める選択ができる**技術力**。

これは道德の話ではありません。生存スキルの話です。

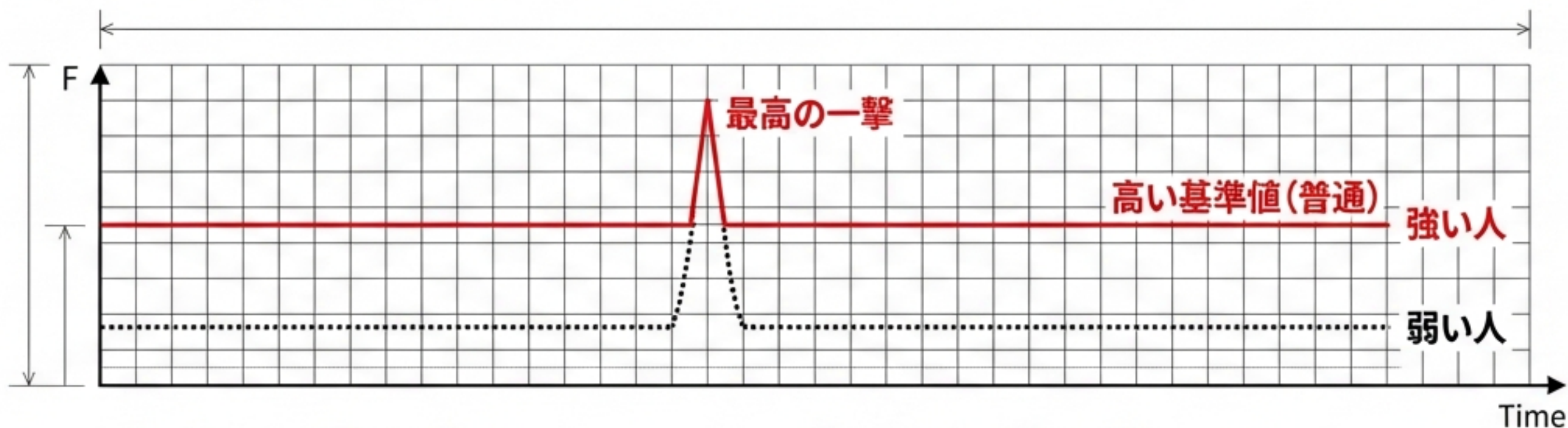
自動化が進む現代、最後に残る価値は「この人と組みたい」と思わせる技術だけ。
相手を破壊せず、構造を前に進めること。それが**人間力**です。

あなたは「単層思考」に陥っていないか？

単層思考 (The Weak)	多層思考 (The Strong)
	
「勝った=正しい」(点評価) 「ロシア=悪」(善悪二元論) 「強打=攻撃」(単一的)	「勝ちの中にもミスがある」(線設計) 「悪の中にも事情(コンテキスト)がある」(同時存在) 「守備も攻撃の一部」(多層的)

世界は矛盾するものが同居する「**同時存在**」。白黒つけるな、**構造**を見ろ。

強い人の「普通」は、 弱い人の「最高」を超える。



【弱い人の思考】

- 逆をつこうとする
- 強打したがる
- 最高のショットを狙う

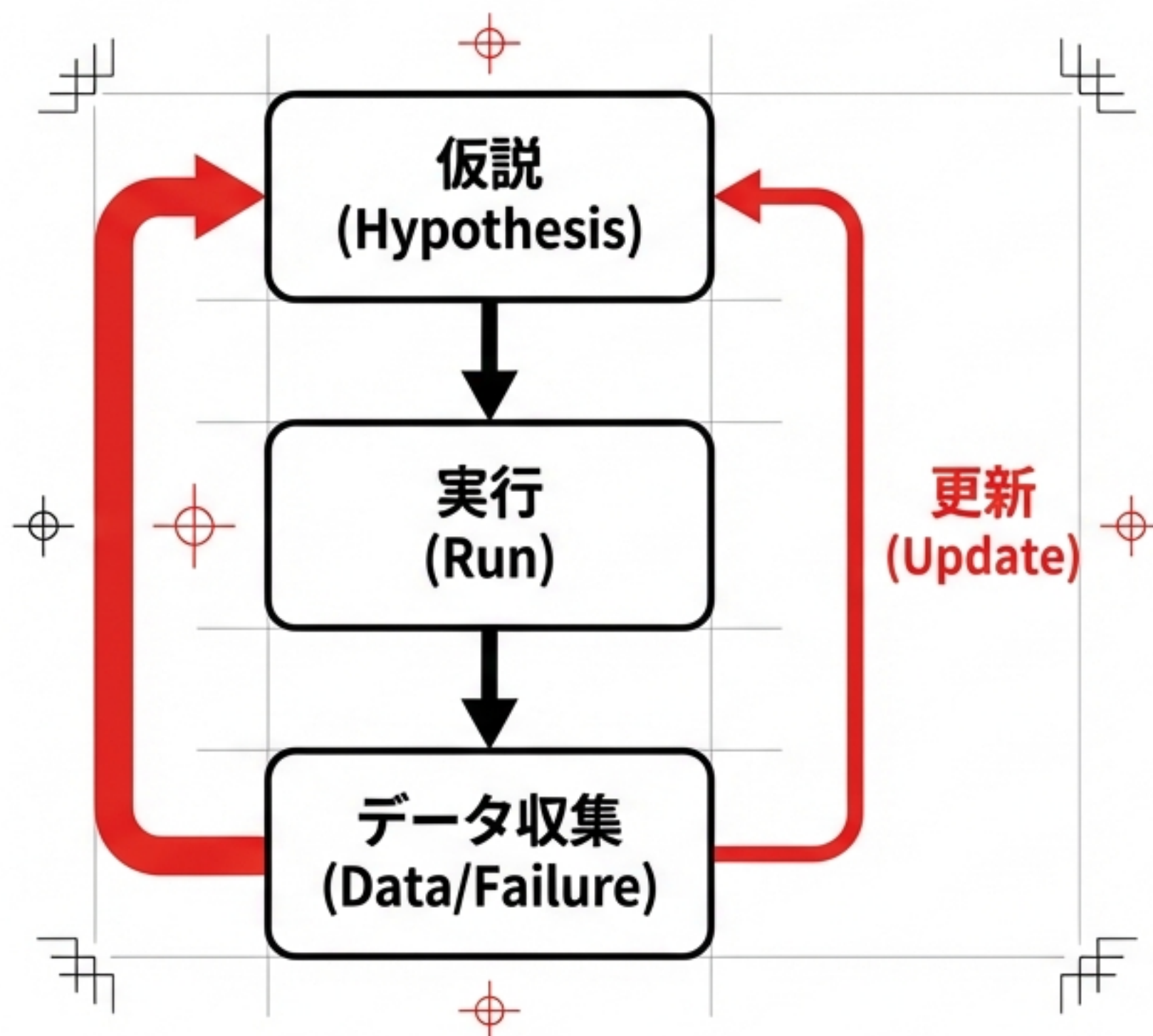
【強い人の思考】

- 読まれても困らない場所へ打つ
- 普通を積み重ねる
- 守りを一発で決められない範囲に置く

派手な攻撃は不要。**当たり前の基準値を上げることが、最強の攻撃である。**

完璧な計画など幻想だ。致命傷だけ避けて走れ。

実験主義：仮説 → 即実行 → 即更新



リスクをゼロにしようとする姿勢が、最大の**リスク**
(**停滞**)を生む。
「**失敗**」という概念を捨てる。それは**データ収集**だ。

【ミス削減四原則】

1. フラット接触
2. 面の遠回り
3. トルク制御
4. 眼球安定

これらは人格の問題ではない。**構造（物理）**の問題だ。

「お願い」は弱さではない。 「投資」である。

「手伝ってください」と言えない人は、
プライドが高いのではない。構造理解が
浅いのだ。

お願いとは、相手に「活躍の場」を提供し、
未来を共創する提案（インベストメント）。

主導権（主権）は、頼んだ側にある。

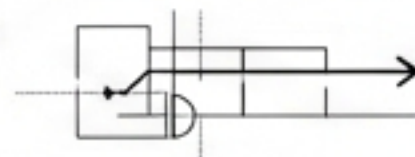


NG思考：

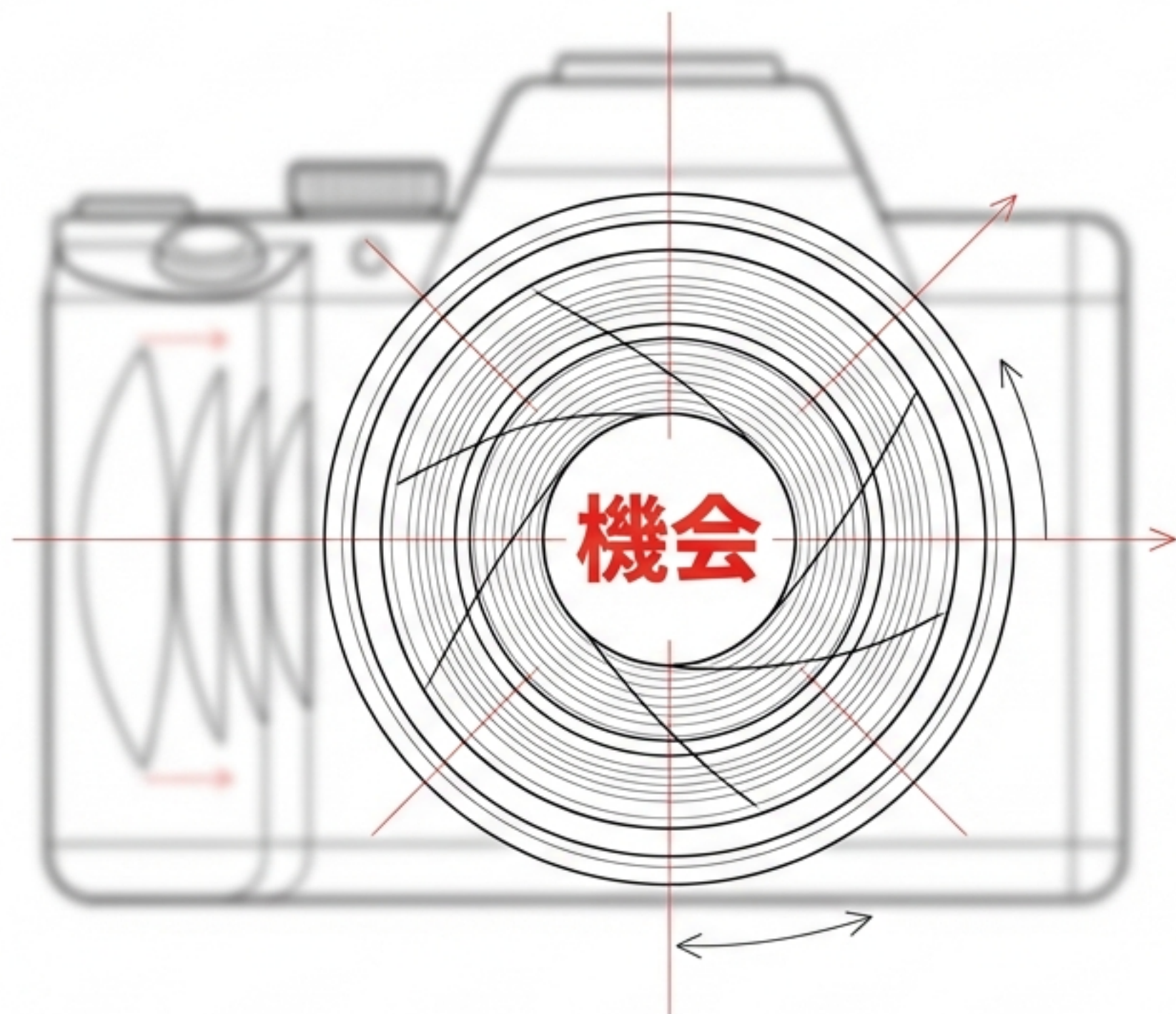
「申し訳ない…（価値の主権を他者に渡す行為）」

OK思考：「私と組むことで、

あなたの価値も高まる（未来への設計）」



感謝は道德ではない。「視野調整スキル」だ。



なぜ感謝するのか？

いい人ぶるためではない。

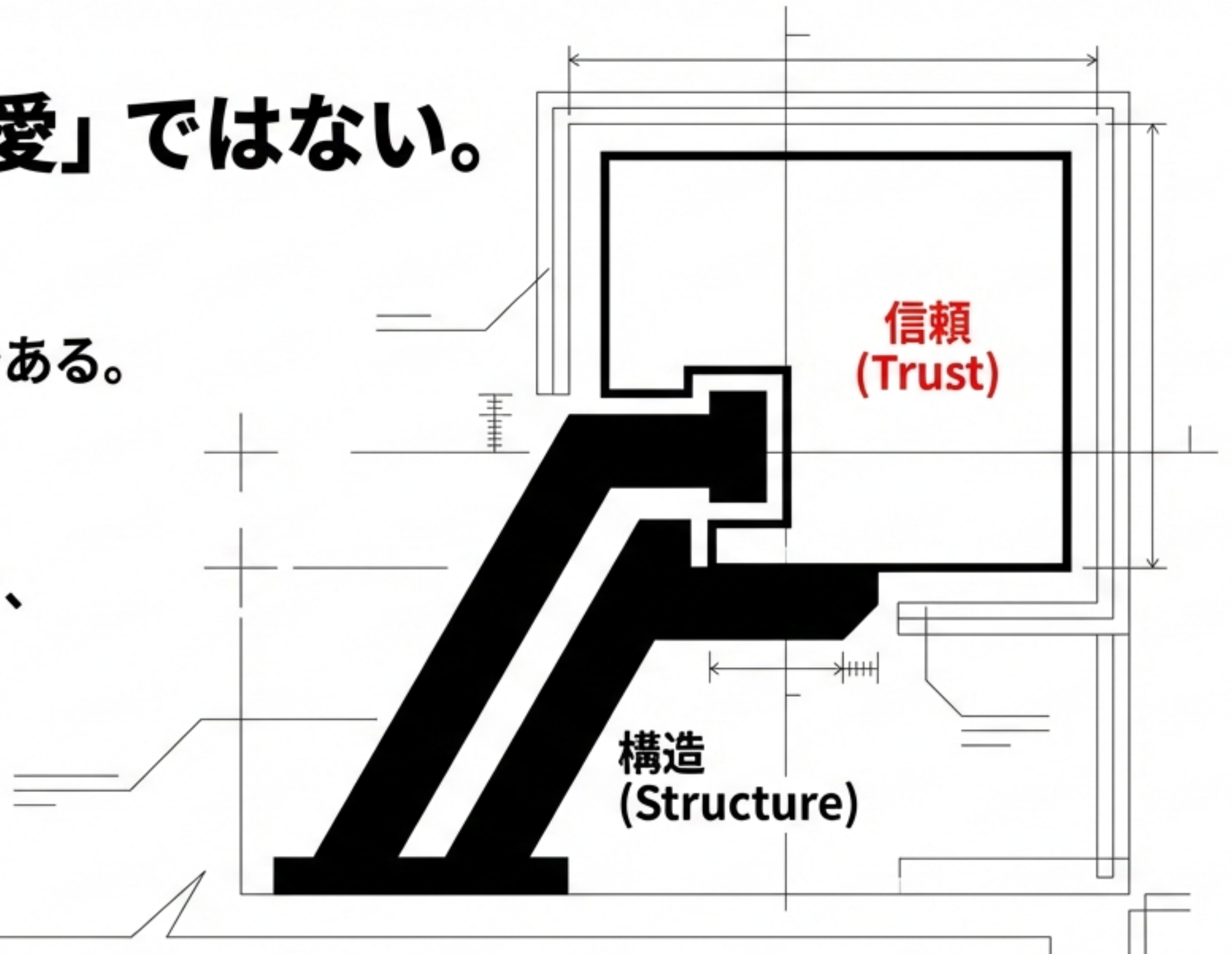
感謝モードに入ると、脳は「有るもの」を探し始める。

不満モードに入ると、脳は「無いもの」を探し始める。

**世界を明るく見通し、チャンスを発見するための「技術」として感謝を使え。
殿様スタンスは捨てる。満足の閾値を上げると、生きづらくなるだけだ。**

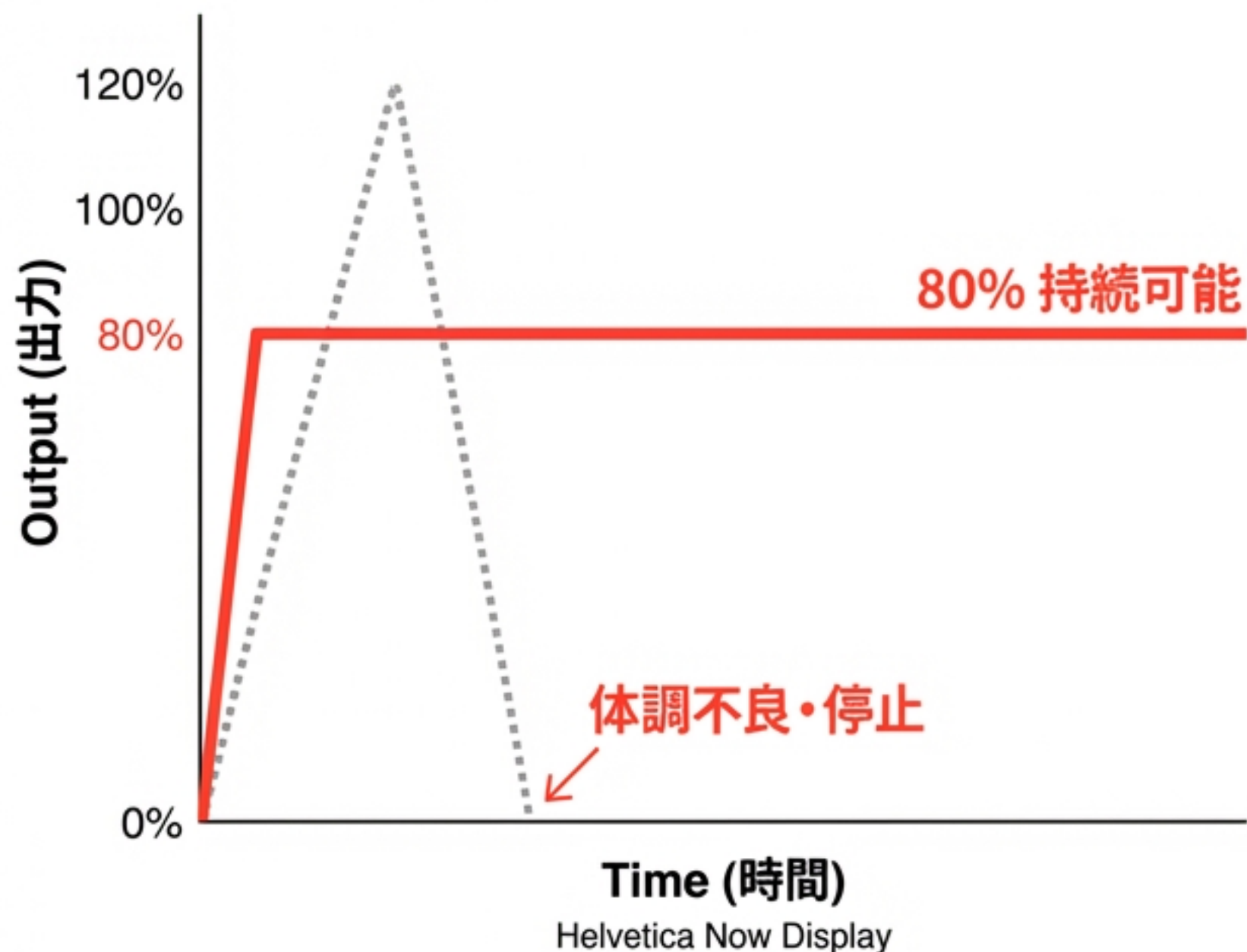
信頼とは「無条件の愛」ではない。 「契約」である。

信頼は契約であり、崩れるものである。
だからこそ構造で担保する。
人格否定はしない。
しかし、同じミスを繰り返すなら、
それは「人格構造」の問題。



断罪するためではなく、**再設計（アップデート）**するために問題を直視せよ。
「罪」の定義：断罪ではなく、**傲慢・欺瞞を防ぐための安全装置（杭）**。

「やり切る」な。「やり続ける」ために80%で回せ。



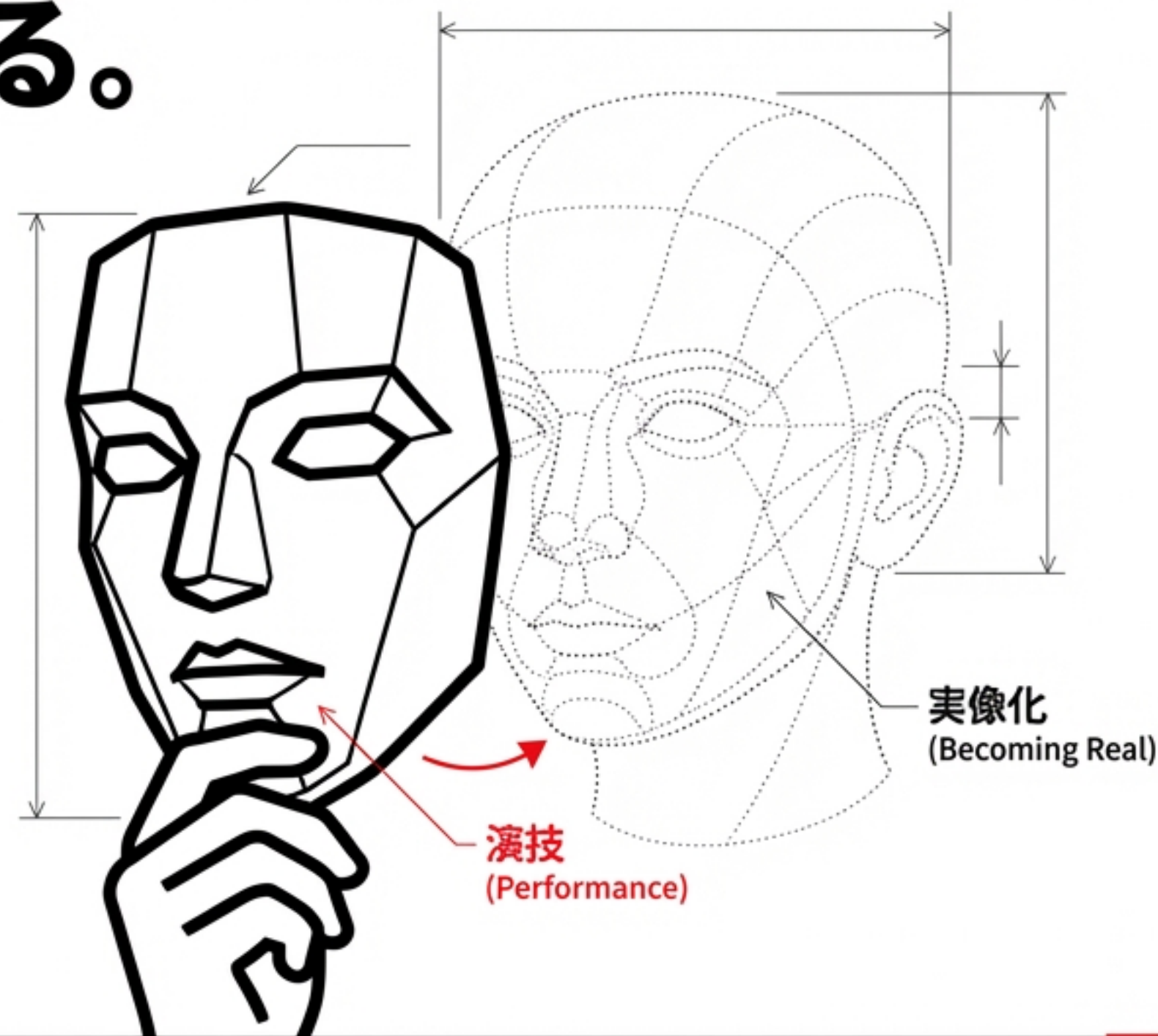
100%の出力は続かない。
体調不良は「限界ですよ」というシグナル。
最も避けるべきは「死」でも「失敗」でもない。
「やり続けることを辞めてしまうこと」だ。
余力を残せ。明日も走るために。

信頼は「演技」から始まる。

理想の自分を演じ続ける。

演じられる者は強い。

演じ続けていれば、やがてそれが「実像」になる。

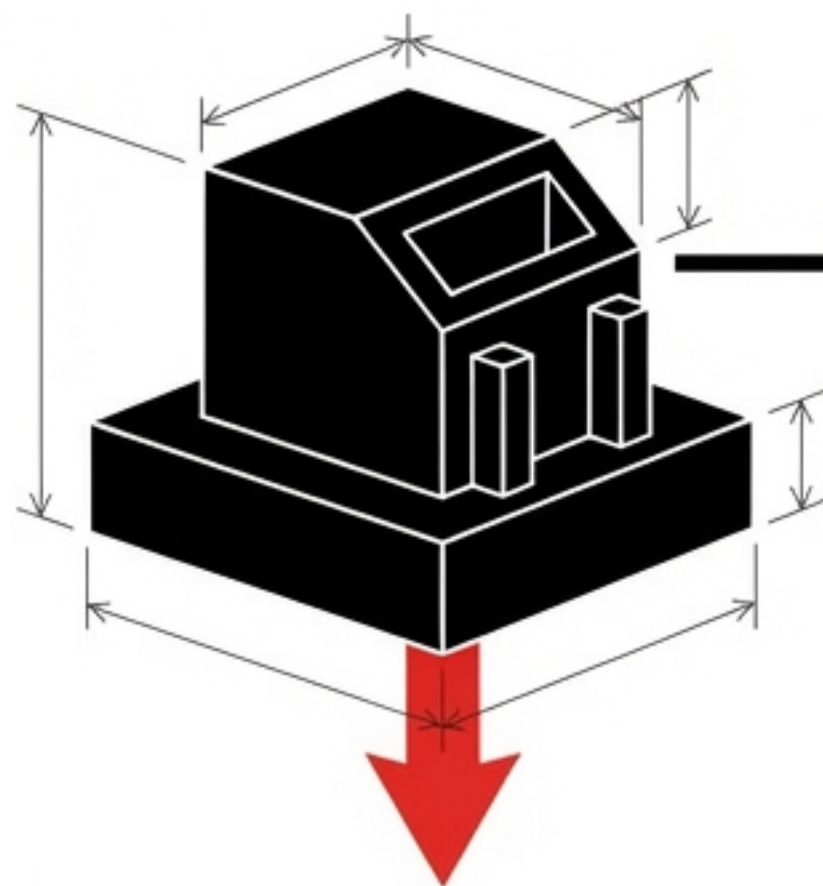


Key Insight

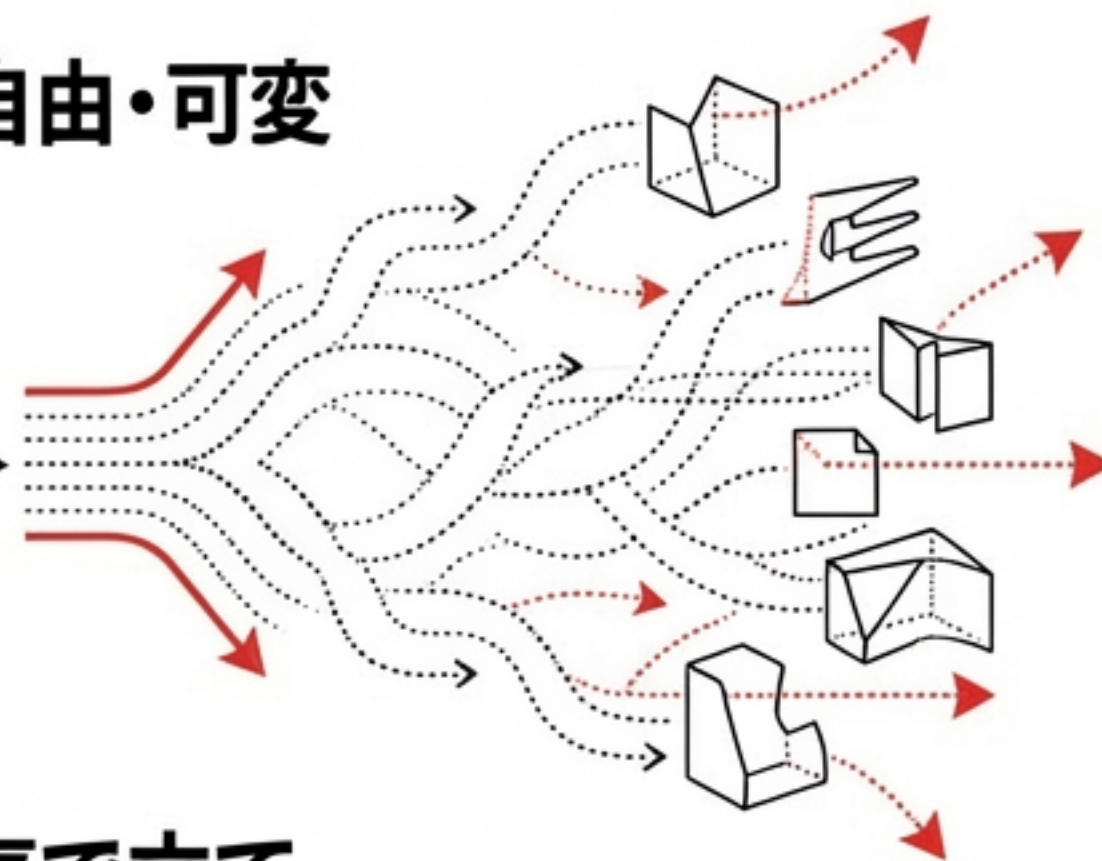
練習とは「手札強化」であり、勝利は練習の外にある。

現在は「絶対化」せよ。未来は「拘束」するな。

現在：絶対的立場

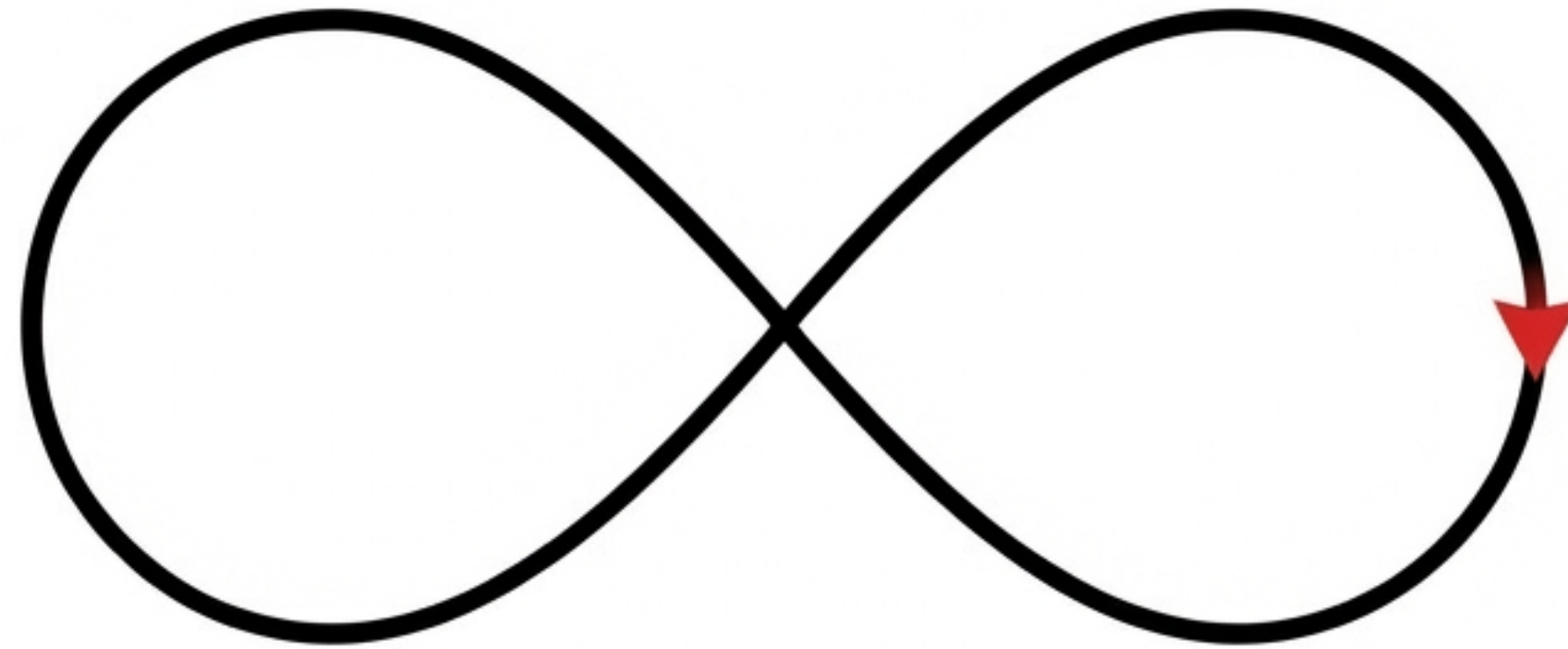


未来：自由・可変



今の自分を曖昧にするな。本気で立て。
しかし、その絶対化も時間軸の中では「暫定」にすぎない。
明日の自分は、全く違う景色を見ているかもしれない。
「ありえないことは一つもない」。今の見え方を固定するな。

ゴールは「成功」ではない。「やり続けた」という事実だ。



終わりはない。完成もしない。
死ぬ瞬間に「やれることをやり続けた」と言えるか。それだけだ。
今日の結果に一喜一憂するな。
ただ、構造を更新し、淡々と回し続ける。

総括：中島信頼の「OS」構成要素

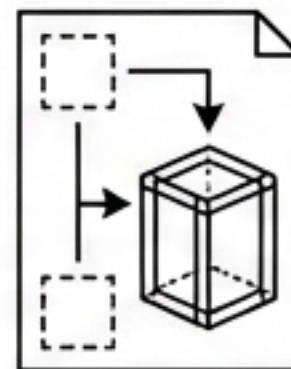
1 運動

思想ではなく、
止まらないサイクル。



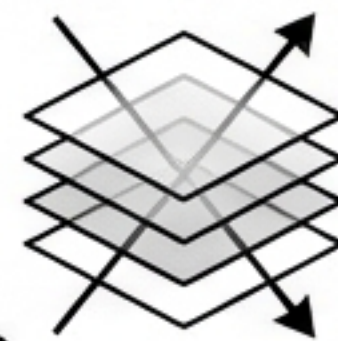
2 構造

現象(勝ち)ではなく、
再現性を追う。



3 多層

善悪で分けない。
同時存在として扱う。



4 技術

人間力は、人を壊さず
前進させるスキル。



5 主権

お願いも、感謝も、
自分が主導権を持つ。



6 継続

80%で、永遠に
回し続ける。



さあ、今日も更新しよう。